リニューアル版
ラップニュース

VOL.244
2023.7.1
発行：ラップ東京株式会社
https://www.raptokyo.co.jp/
（無断転載厳禁）

◎ラップ東京では、皆様のお役に立てるような様々な内容のコラムを発信しています。　バックナンバーは www.raptokyo.co.jp から

「今日できること」

いきなり、トイレの中での話しで恐縮ですが、我が家のトイレには名言が掲載されている週替わりのカレンダーがあります。名言を見ながら、「本当にその通りだな」と素直に受け止められるときもあれば、「そうは言ってもそんなにうまくいかない」と、少々反論したりして、結構、楽しみにしています。いくつか心にいつまでも残る名言があるのですが、私の中でのベストワンは、「明日ありと思う心の仇桜　夜半に嵐の吹かぬものかは」です。浄土真宗を開祖した親鸞聖人がわずか9歳で出家を決心したときに詠んだ歌です。桜をみるのを明日にしたら、夜のうちに嵐がきて一晩で散ってしまうこともある、明日でいい、と思っていると機を逃してしまう、今できるなら今やろう、という意味だそうです。

今日できることは今日やろう。これはかなり大変です。予定をしていても、突発的に入ってくる仕事や電話などの対応、予定していたよりも時間がかかってしまった作業などに追われます。業種によって異なるかもしれませんが、やろうと思っていたことが出来なかった日のほうが多いかもしれない、という方もいると思います。私もその一人です。

それでも、明日でいい、と思っていると機を逃してしまう、今、やるべきなのだ、と仕切り直して「今日中」にやるようにします。うまくいかないと「今日もやろうと思っていたことが出来なかった」と感じ、余計に疲れがたまり、それが、ストレスになることがあります。

さて、トルコやスペインでは明日できることは明日でいい、といったような格言があるそうです。「マニャーナの法則」といわれるものは、マニャーナというスペイン語の「また、明日！」という挨拶が元になっているとか。明日に回せる仕事を明日に回し、今日の仕事に集中するという考え方で、時間を管理し、やるべきことを整理することでミスを減らすことができる、というものです。目の前の仕事や突発的な出来事には、どうしても反応してしまいがちです。すぐに対応すべきことは、明日に回すことはできませんが、明日に回せるものであれば回してもいい、いえ、回したほうが良い仕事ができるのかもしれません。「今日はここまで」と決め、新たに発生した仕事を衝動的にプラスしない、クローズ・リストの活用を検討してもいいと思います。

私の場合ですが、やっぱり、いま「桜」を見に行かないと「桜」が散ってしまうかもしれない、という親鸞聖人の言葉が浮かんできてしまいます。できることであれば、なるべく早くとか、今日中に、という気持ちで毎日、仕事をしていきたいです。しかし、時には、インプットばかりになってしまい、アウトプットがうまくいかず、一人で抱え込んでいる状態になることがありますので、要注意です。

ご案内

簡単更新くん

それほど高機能ではなく、
更新したいページを簡単に更新できる「簡単更新くん」

簡単らいんちゃん

つながりたいをサポートする
「簡単らいんちゃん」

【この件に関する問い合わせ】
ラップ東京株式会社
（担当：田島）
TEL: 042-349-3535

ラップニュース バックナンバーはホームページからご覧いただけます。
アンケートがありますのでよろしかったら、ご意見をお聞かせください。https://www.raptokyo.co.jp/